



化学物質と環境リスクの管理



- 化学物質管理と排出削減
- 環境負荷化学物質の削減
- 環境リスクの回避
- 土壌・地下水汚染の調査

化学物質を取り扱う企業として、環境汚染を防止することは重大な責務です。ムラタでは、製造工程で排出する有害な化学物質の管理と排出削減を重要テーマとして取り組んでいます。

環境リスクの回避

環境事故・汚染防止

ムラタでは、化学物質による汚染を重要な環境リスクと認識し、その回避に努めています。特に影響の規模や期間を考慮し、化学物質の貯蔵や事業所内移送に関連する設備について、未然防止のための4つの自主基準を定めて対策を実施しています。

産業廃棄物については、国内外ともに法的な許可を有する専門業者に委託し、定期的に委託先処分場を訪問することで適正に処理されているか確認しています。また、工場建設の際には、土地の形状変更にとまらぬ土壌汚染などのリスクを低減するため、調査を実施しています。

なお、2007年度における環境事故、環境基準の違反はありません。

未然防止のための自主基準(設備関連)

1. 地下埋設タンクの原則禁止

燃料・有機溶剤・酸・アルカリの新液・廃液の貯蔵タンク、排水処理の原水槽は地上化を原則とする。やむを得ず地下に設置する場合には必ず二重化する。

2. 浸透防止塗装

燃料・有機溶剤・酸・アルカリの新液・廃液の取り扱い場所は、浸透防止塗装もしくはステンレス製の受け皿を設置する。

3. 地下埋設配管の禁止

燃料・有機溶剤・酸・アルカリの新液・廃液、工程排水の移送配管は架空とする。

4. 緊急遮断装置

タンクローリーなどによる新液受け入れや廃液引き抜きの作業場所は、事故発生時の敷地外への漏えいを遮断できる構造とする。



岡山村田製作所の
架空配管



氷見村田製作所の
緊急遮断弁

鯖江村田製作所
地域住民の会社見学会



岡山村田製作所地域住民の会社見学会

地域住民との環境リスクコミュニケーション

ムラタでは、事業活動が地域社会に及ぼす影響の最小化をCSRの重要な課題と認識し、問題発生時の迅速な対応に努めています。

2007年度は、グループ内数ヶ所の事業所で、騒音や夜間照明、植栽について8件の苦情がありました。地域住民と相談のうえ、速やかに対応しました。

従業員から

環境への取り組みを地域住民にご理解いただく



株式会社岡山村田製作所
管理部 環境管理課

上浦 章史

地域の方々に、環境への不安を抱かせることがあってはなりません。そのためには、環境へのムラタの取り組みを伝え、安心・満足していただくことが大切です。

地域環境の保全に積極的に取り組んでいることを実感していただくため、地域の方々を対象とした会社見学会を定期開催しています。構内緑地の見学、実験キットによる工場排水の清浄度の確認など、環境保全の推進を実感していただくとともに、情報の公開にも努めています。